

学級活動指導案（3年）

平成26年9月30日(火曜日) 第3校時 3年教室

1 議題 「 楽しいバス旅行にしよう 」

内容(1)学級や学校の生活づくり ウ 学校における多様な集団の生活の向上

2 考察

(1) 題材観

本題材は、学級活動の内容「(1)学級や学校の生活づくり ウ 学校における多様な集団の生活の向上」に関わるものである。

児童はこれまでに、「雨の日の過ごし方」や「運動会に向けて気持ちを高めよう」などの議題で話し合い活動の経験を積んできた。全体的には意見を出しやすい雰囲気、話し合い活動の際にはたくさんの意見が飛び交う。しかし、集団決定の際は意見がまとまりづらく、リーダー的な存在の児童の意見が通ってしまったり、誰かが我慢することでその場が収まったりということもある。

「運動会に向けて気持ちを高めよう」を議題としたときのめあては「朝の会でみんなで歌って運動会の練習にヤル気を持って取り組めるようにしよう」で、「3年1組の歌を決める」ための話し合いをした。どんな歌を歌えば気持ちが高まるか、児童はよく考え、思い思いの意見を自由に出し合うことができた。しかし、自分の意見を言ったらおしまいとか、どうしても自分の歌いたい歌を通したい児童もあり、意見がまとまるかどうか心配になる様子もみられた。そんな時「曜日毎に歌う歌を決めて5曲歌うことにすれば、みんなが歌いたい曲を選ぶことができるのでいいと思います」という意見を出した児童がおり、それに賛同する声が多くあがった。このように「みんながいいように」と、集団の一員としての意見をまとめようとする児童の思いを学級全体に広めることは大変意義がある。

そこで、児童が楽しみにしているバス旅行に向けて、みんなが楽しく旅行に行ってこられるための話し合いをし、みんなで決めたことをみんなでやってよかった、という経験を積ませることは、集団の一員として生活することのよさや大切さを実感できると考えられる。また、友達の話をもっと聞き公平に判断して集団決定することで、少数の意見のよさも認めることができ、一人一人が認められて学級への所属感も高まると考え、本題材を設定した。

(2) 児童の実態及び指導方針（男子8名 女子10名 計18名）

本校は、平成24年度に町の小学校4校が統合し誕生した。全校児童127人の小規模校であり、3年生は2学級で、毎年クラス替えをしている。

3年生になってから話し合いの経験は数回あり、これまでは、教師が司会や書記の役割や話し合いの進め方を児童に示しながら行ってきた。前回の話し合い活動をするころから「先生、司会をやってみたいな」という声や「話し合いするの、楽しみだなあ」という児童の声が聞かれるようになってきた。楽しみなのはなぜか聞いてみると「みんなが色々な意見を出して、そこから決めていくのが楽しいから」と、様々な意見のよさを生かそうとしている児童もいることが分かった。一方、自分の思いが強く、人の意見を受け入れづらかったり、自分の意見が通らないと嫌になってしまう児童もあり、集団決定は教師が支援しながら行ったり、十分分り合えないうちに多数決に頼ってしまったりすることも少なくない。

そこで、指導方針として、「人の意見を聞いて、それを受けて話す」ことや「人の意見を聞いて比べ合い、自分の意見を深める」ことを大切に、自分の意見を言いつばなしにするのを防ぎたい。話し合い活動を通して「聞く」ことを意識しながら、友達のことを正しく聞き、公平に判断して、お互いの意見のよいところを生かしながら意見をまとめていこうとする意識を高めたい。

3 研究との関わり

「集団としての意見をまとめていこうとする児童の育成」
 ～「話し合い大作戦！」を取り入れた学級活動(1)の指導の工夫を通して～

研究仮説

① 聞き合いタイム

「話し合い大作戦！」の出し合う過程において、聞く視点と学級の実態に合った聞き合いパターンを用いる「聞き合いタイム」を設定することによって、友達の意見を正しく理解し公平に判断して、様々な意見を受け入れることができるであろう。

② しんかタイム

「話し合い大作戦！」で、意見を聞き合った後に比べ合いの視点を手がかりとし、めあてに向かって自分の意見を見直す「しんかタイム」を設定することによって、自分の意見を集団としての意見へと深めていくことができるであろう。

③ 分かり合いタイム

「話し合い大作戦！」の比べ合う過程において、視点を与えた「分かり合いタイム」を設定することによって、みんなの意見のよさを生かしながら合意点を見いだすことができるであろう。

本時における具体的な手立て

- ① 聞き合いタイムでは、聞く視点である「うさぎの耳」を意識し聞くことを大切にして、友達の意見を正しく理解し公平に判断して受け入れられるようにする。また、聞き合いパターンのゆっくりパターンを用いて話し合い活動を進めることにより、教師の支援を丁寧に入れながら計画委員の役割や話し合いの流れを身に付けてよりよい聞き合い・分かり合う話し合い活動ができるようにする。
- ② 聞き合いタイムの後にしんかタイムを取り、「しんかのもと」を手がかりとして自分の意見を改めて見直すことにより、自分の意見をめあてにより近づいたものへと深めることができるようにする。その際、黙って一人で考えるようにし、思考を働かせながら聞き合いを整理できるようにする。
- ③ 分かり合いタイムでは「うさぎの耳」「しんかのもと」「話す型」を用い、目的を持って聞き合いを受け話し合い、お互いの意見のよさを生かしながらみんなの意見をしばっていこうとしたりすることで合意形成できるようにする。

4 指導計画

【 第3学年及び4学年の評価規準 】

	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級活動(1) の評価規準	学級の生活上の問題に関心をもち、他の児童と協力して意欲的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しい学級生活をつくるために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、協力し合って実践している。	みんなで楽しい学級生活をつくることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の計画的な進め方などについて理解している。
聞くこと	相手の方を見て話を受け止めながら聞いている。	公平に判断しながら、どうしてそう思ったのか相手のことを考えながら聞いている。	大事なことは何か話の中心に気を付けながら最後まで聞いている。
話すこと	相手の方を見ながら丁寧な言葉を用いて分かりやすく話そうとしている。	相手の意見を受け、理由を明確にししながら、筋道を立てて話そうとしている。	抑揚や強弱、間の取り方などに注意しながら話すことができる。

分かり合うこと	楽しい学級生活をつくるために、自分の考えと比べながら友達の発表を聞いたり、理由を明確にして自分の意見を言ったりして、協力し合って話し合いを進めることができるようにする。
折り合いをつけること	お互いの意見のよさを取り入れながら、集団としての意見をまとめていこうとすることができる。

時間	主な内容	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動
		思考・判断・実践	知識・理解	
事前の活動	問題の発見 議題の選定 問題の意識化	<ul style="list-style-type: none"> 議題について自分の考えを持ち、計画委員の運営や話し合いの活動計画について考え、準備している。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画委員の役割や話し合い活動の準備の仕方など、計画的な進め方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師と計画委員が相談して、学校生活の向上につながるための話し合いにふさわしい議題を決定する。 「うさぎの耳」「しんかタイム」等、話し合い大作戦！の内容について理解する。
本時の活動	出し合う 比べ合う まとめる	<ul style="list-style-type: none"> よりよい学級の生活づくりに向けて考え、判断し、まとめようと話し合える。 公平に判断しながらどうしてそう思ったのか相手のことを考えながら聞いている。 相手の意見を受け、理由を明確にしながら、筋道を立てて話そうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画委員の仕事の内容や計画的な話し合いの進め方を理解している。 大事なことは何か話の中心に気を付けながら最後まで聞くことができる。 抑揚や強弱、間の取り方などに注意しながら話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 議題・めあて・話し合うことを確認する。 お互いがそう考えた理由を聞き合い、友達の意見を受け入れる。 しんかタイムで、自分の意見を集団の一員としての意見へと深める。 全体で、しんかさせた意見どうしを比べて、集団決定に向けて練り合い、いいところを生かしながら合意形成する。
事後の活動	実践	<ul style="list-style-type: none"> 決定したことや自他の役割を考え、協力し合って実践することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 決定したことについて、みんなで計画的に実践することの必要性や方法について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 決定したことについて、自分たちで決めたという思いをもってバスレクができるようにする。 みんなで決めたことを行い、よかったという思いを持てるよう支援する。

【事前の計画委員会の活動】

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童像と評価方法
9月22日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> 計画委員会を組織し、役割分担をする。(昼休み) 	<ul style="list-style-type: none"> 学級の中からあがってきた児童の声を参考にして計画委員と共に議題を決定し、めあてや議題設定の理由をまとめられるようにする。 計画委員の役割について説明し、分担できるようにする。 	【知識・理解】 <ul style="list-style-type: none"> 計画委員会の役割や話し合い活動の準備の仕方など、進め方を理解している。 (観察)
9月24日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> 議題やめあてを計画委員が全体に説明し、学級活動コーナ 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が言い足りないところは補足し、話し合いの意義が児童に伝わるように 	

	一に掲示する。(帰りの会)	する。
9月25日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いカードを配布して自分の意見を書いてもらう。(朝の会) ・話し合いカードを回収し(帰りの会)、それを参考にしながら教師と共に話し合いの展開を予測し、進行表を作る。(放課後) 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画委員の役割について、できることは児童に任せ、徐々に身に付けられるようにする。 ・回収した話し合いカードから、話し合いの展開を予測し、進め方についてアドバイスしながら進行表を共に作る。
9月26日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの進め方を確認する。(休み時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団決定の前に「集団のためによりめあてに近づいた意見にする」ことを、全体に改めて意識付けできるように打ち合わせしておく。

5 本時の展開

- (1) **ねらい** みんなで力を合わせて楽しいバス旅行にするために、バスの中で行うレクリエーションを決めることができる。
- (2) **準備** 教師：議題・めあて・話し合うことの掲示用カード、
児童：話し合い大作戦！カード(話し合いカード)
- (3) **展開**

学習活動 予想される児童の反応	時間 (分)	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価 ☆研究との関わり)
1・議題、提案理由、めあて、話し合うことを確認する。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・司会の声の大きさや話し方が不適切であった場合には助言する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>議題 楽しいバス旅行にしよう。 めあて みんなが楽しくバスに乗れるようなレクリエーションをしよう 話し合うこと バスの中でのレクリエーションを決めよう</p> </div>		
2 話し合い		☆会を通して聞く視点「うさぎの耳」で聞くことを意識できるように声がけをする。
① 聞き合いタイム <ul style="list-style-type: none"> ・誰がどんな意見を持ち、どうしてそう思ったのかを聞き合い、様々な意見を受け入れる。 	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ☆「うさぎの耳」で聞き、友達の見解を正しく理解し公平に判断して受け入れられるようにする。 ☆「聞き合いパターン」のゆっくりパターンを用いることにより、教師の支援を丁寧に取り入れ、計画委員の役割や話し合いの流れを身に付けながら聞き合い・分かり合う話し合い活動ができるようにする。
② しんかタイム <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの聞き合いを振り返り自分の意見を見直して、個から集団への意見へ深める。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ☆「しんかのもと」を手がかりとし、めあてに向かって自分の意見を整理することで、自分の意見を改めて見直し集団の一員としての意見へと深めていけるようにする。
③ 分かり合いタイム <ul style="list-style-type: none"> ・全員の意見を比べ合い、練り合っ、お互いの意見のよさを生かしながら 	2 0	<ul style="list-style-type: none"> ☆「うさぎの耳」「しんかのもと」「話す型」を用い、目的を持って聞き、それを受けて話すことで、みんなの意見のよさを生かしながら、

<p>合意点を見いだす。</p>	<p>集団としての意見をまとめていくことができるようにする。</p> <p>☆めあてである「みんなが楽しくバスに乗れるようなレクリエーションをしよう」を意識付けてから分かり合いタイムに入れるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公平に判断し折り合いが付けられるよう支援する。十分に分かり合えている場合には、多数決を取るのもよいことを理解させる。 ・児童の発表に対しては頷きながら聞き、良い態度に対しては賞賛し、自信を持たせたり真似しようとしたりできるようにする。 <p>◎カードに書かれていることをもとに、自信を持って自分の意見を発表できるよう言葉がけする。</p> <p>◇思考・判断・実践</p> <p>どうしてそう思うのか相手のことを考えて公平に判断し、みんなの意見のよさを生かしながらまとめようと話し合っている。(観察・話し合いカード)</p>
<p>3 振り返り</p>	<p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの頑張りを認め、賞賛して、次時の活動への意欲を持てるようにする。

6 板書計画

集団のために めあてにより近づいた 意見にしよう

おもしろい話

メチャギントン

歌を歌う

名前ならびかえクイズ

クイズ

こわい話

ビンゴ

●
T

●
下

- ・好きな人が多い。
- ・みんながやったことがある。
- ・道具の準備が大変。

話し合うこと

めあて

議題

第三回 話し合い大作戦!

楽しいバス旅行にしよう

みんなが楽しくバスに乗れるようなレクリエーションをしよう

バスの中でのレクリエーションを決めよう